



長門の話題 Topics

木の温もりがたつぷり感じられる新しい園舎が完成 日置保育園 園舎完成見学会

3月18日(月)、日置保育園園舎の完成見学会が開催され、園児や保護者ら約100人が見学会に訪れました。
旧日置支所跡地に建てられた新しい園舎は木造平屋建て897.13㎡で、市内産木材を含む県産木材を使用し、木の温もりがたつぷり感じられる園舎となっています。この施設



▲木の香りのする新しい園舎に喜ぶ園児ら



▲8月末には保育園全体の竣工が予定されている

は保育園と子育て支援センター、ボランティア施設が併設され、日置地区の子育て拠点として、有効活用が期待されています。
新園舎は今年の9月から供用開始される予定で、それまでの間、周囲の遊具やグラウンド、駐車場の整備が進められます。

ながとブルーエンジェルス 英語とラグビーで交流

3月12日(火)、女子7人制ラグビーチーム「ながとブルーエンジェルス(NBA)」の選手らと、あおい幼稚園の園児が参加するスポーツ教室が、ながとスポーツ公園で開催。園児たちは英語のあいさつなどのレッスンを受け、パスやトライなどの練習をしながら選手との交流を楽しみました。



NBAの選手と一緒にトレーニングする園児

道の駅センザキッチンが開業して334日目 来場者100万人を突破

3月19日(火)、道の駅センザキッチンの来場者が100万人を突破し、記念のセレモニーが行われました。100万人目となったのは、大阪府からお越しの西村雄一さん家族で、「長門市は初めて訪れた。食べ物美味しくとてもいい所です」と長門市の印象を話していました。



▲西村さん家族には花束と記念品が送られた

長門の 人 People

向津具の農海産物を多くの人へ届けたい

なかにし こうじ
中西恒治さん
(むかつくわくわく
協同組合代表理事)



向津具で新鮮な農海産物を販売する「むかつく産直市ここや」が、1月26日(土)にオープンしました。その産直市の運営リーダーが、むかつくわくわく協同組合代表理事の中西恒治さんです。

8年前に始めた直売の経験から、地元のために産直市をしたという思いが芽生えた中西さん。平成29年に「むかつく遊ぼう協議会」の後押しを受け、出資者や組合員、出荷者の確保などのハードルを越えて、産直市のオープンにつなげました。

「地元の人には、生産者であり、消費者でもある。その人たちが一番のお客様。新鮮な農海産物を安価に提供したい。地元地域の振興に貢献することがテーマです」と力強く話されました。

むかつく産直市ここや

■営業日時 毎週木・土曜日

9:00~17:00

※他の曜日は無人市形式で営業

■所在地 長門市油谷向津具上

372番地4

■その他 販売する農海産物・ボランティアスタッフ募集中



▲「むかつく産直市ここや」の皆さん。4月はたけのこや豆類が旬とのこと

旬 な人

2日間で全国から約730人が参加

長門市本庁舎工事構造見学会

2月22日(金)、23日(土)の2日間、長門市本庁舎の構造見学会が開催され、建設関係者や自治体関係者、市民など約730人が参加しました。長門市本庁舎を中心とした木材活用の講演会が行われたほか、建設中の本庁舎見学会では、熱心に写真撮影する参加者の姿が多く見られました。



▲全国から注目を集める本庁舎建設事業

聴覚障害を持つ人も楽しめるようなイベントを 誰もが楽しめる美術館へ

3月9日(土)、長門おもちゃ美術館で、耳の不自由な人にも楽しめるイベント「I LOVE YOU & TOY」が開催されました。東京おもちゃ美術館の協力で専門の講師が来館し、手話を使っている絵本の読み聞かせやミニシアター、聴導犬の仕事の紹介などが行われました。



▲動きのある手話に子どもたちも興味津々